

**東京レガシーハーフマラソン2026チャリティ
寄付金総額 5,942万8,831円
ご賛同・ご寄付いただいた皆さま、ありがとうございました。**

※2026年9月17日時点

一般財団法人東京マラソン財団チャリティ RUN with HEARTでは、「走れる幸せを誰かの幸せにつなげよう。」という想いのもと、東京レガシーハーフマラソン2026を通じたチャリティ活動を実施しています。

2026年4月15日（水）から5月15日（金）まで寄付申込及びチャリティランナーエントリーをおこない、スポーツ振興、環境保全、世界の難民支援、難病の子どもたちへのサポート、貧困支援、動物愛護など、さまざまな社会課題の解決に取り組む25の寄付先事業（団体）に対し、東京レガシーハーフマラソンチャリティとして過去最高額となる5,555万9,831円の寄付金が寄せられました。

さらに今大会では、新たな取り組みとして、日本における寄付文化の醸成と、より多くの方にチャリティへ気軽に参加していただくきっかけづくりを目的として、500円から参加できる「+ONE Action」を実施しました。

「+ONE Action」では、ランナーそれぞれの想いに合わせてエントリー時に以下3つの団体から選択いただき、7,738件、総額386万9,000円の寄付が寄せられました。

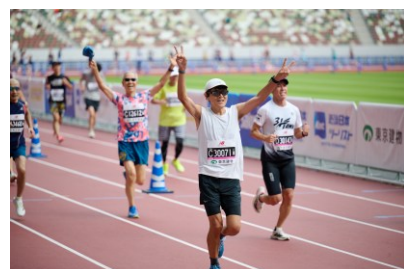
- ・令和6年能登半島地震災害義援金
- ・認定NPO法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ
- ・一般財団法人あしなが育英会

「+ONE Action」にご参加いただいたランナーのビブスには、『「+ONE」の想いを、走る力に。』のメッセージを表記します。寄付というアクションに込めたそれぞれの想いととも、東京レガシーハーフマラソン2026へご参加いただきます。

これらを合わせた東京レガシーハーフマラソン2026チャリティの寄付金総額は5,942万8,831円となりました。皆さまからお寄せいただいた寄付金は、各寄付先事業（団体）が取り組む社会課題の解決に向けた活動に活用されます。

■ 寄付金を活用した「スポーツレガシー事業」

東京マラソン財団では、寄付金を活用した取り組みの一つとして「スポーツレガシー事業」を展開しています。東京レガシーハーフマラソンでは、障がいのある方にもスポーツの楽しさやMUFGスタジアム（国立競技場）で体を動かす喜びを体験していただく「パラ陸上教室」を開催するなど、スポーツを通じて未来につながるレガシーの創出に取り組んでいます。



■東京レガシーハーフマラソン2026チャリティ寄付先事業（団体）の寄付金額内訳

チャリティ寄付先事業（団体）		寄付金額	チャリティ寄付先事業（団体）		寄付金額
1	一般財団法人東京マラソン財団スポーツレガシー事業-1 スポーツを軸とした新しいライフスタイルを享受できる社会の実現と継承	2,754,000円	14	認定NPO法人フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー-JAPAN ラオスに根付く医療を。小さな命に寄り添い、心のこもった医療を届ける	1,531,000円
	公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン 病気の子どものとそのご家族のための施設「ドナルド・マクドナルド・ハウス」 「ドナルド・マクドナルド・ファミリールーム」の運営	13,839,000円	15	認定NPO法人 国境なき子どもたち カンボジアやフィリピンの貧しくて学校に通えない子どもたちに教育の機会を！	1,167,000円
3	認定NPO法人ピースウィンズ・ジャパン 日本の犬を殺処分から救うための保護・譲渡活動、災害救助犬等の育成	4,508,555円	16	東京おもちゃ美術館/認定NPO法人芸術と遊び創造協会 新宿の廃校を活用したインクルーシブミュージアムの運営	505,000円
4	認定NPO法人ACE 児童労働の撤廃・予防や子どもの権利保障に取り組む日本生まれのNGO	2,473,655円	17	認定NPO法人育て上げネット 「若者と社会をつなぐ」をミッションに、社会的孤立状態の子ども・若者を支えています	1,180,000円
5	公益財団法人ゴールドリボン・ネットワーク 小児がん経験者への奨学金制度・小児がん交通費等補助金制度・小児がんの子を持つひとり親世帯支援制度・小児がん治癒率向上及び生活の質向上のための研究費用助成 等	3,140,000円	18	公益財団法人東京都農林水産振興財団 「花粉の少ない森づくり」と地球温暖化防止を目指し、健全な森林を次世代に継承	802,000円
	認定NPO法人キッズドア 貧困家庭の子どもたちが、安心して勉強し食事を取れる無料の居場所型学習会を提供	3,315,000円	19	公益社団法人日本環境教育フォーラム 体験と対話を重視した環境教育で、持続可能な社会づくりを担う人材を育成する	751,000円
7	公益財団法人日本対がん協会 がん患者やご家族に対する無料がん電話相談窓口の運営、がん予防・検診の推進、正しい知識の普及啓発、がん医療分野への助成	5,189,000円	20	公益財団法人ジョイセフ すべての人が健康で、自分の人生を自分で選択できる社会に変えていく	706,000円
	認定NPO法人ファミリーハウス 重い病気の子どもの治療を要する間の患者と家族への滞在施設の提供とケア	1,819,666円	21	認定NPO法人全国骨髄バンク推進連絡協議会 骨髄バンクの普及啓発とドナー登録推進支援及び白血病の相談や患者への経済的な支援	697,500円
9	公益財団法人日本バラスポーツ協会 バラスポーツを普及拡大する取り組みと競技力の向上を図る取り組みを好循環させることによる活力ある共生社会の実現を目指す	1,856,000円	22	公益財団法人東京防災救急協会 災害時に最も重要となる『自助・共助』に必要な知識や技術、そして大切な『命のボタン』をつなぐための応急手当の知識や技術を身につけてもらう事業などを行っています。	1,620,000円
	公益財団法人ケア・インターナショナル ジャパン ウクライナなどの紛争地域や途上国で、今、困難を抱える女性や女子を支援	1,516,000円	23	公益財団法人がんの子どもを守る会 1968年に小児がんで子供を亡くした親たちによって設立され、小児がんが治るような病気になってほしい、また小児がんの患児・家族を支援しようという趣旨のもと活動しています	1,210,000円
11	特定非営利活動法人ウォーターエイドジャパン 清潔な水、適切なトイレ、正しい衛生習慣を届け、人々の暮らしと命を守る	1,964,409円	24	公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン 経済困難家庭の子どもに、塾やスポーツ教室等で利用できるクーポンを提供	915,001円
12	公益財団法人そらぶちキッズキャンプ 難病とたたかう子どもと家族を、夢の医療ケア付キャンプ場に招待	566,045円	25	認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会 ワクチンで救える命、1日4,000人。途上国の子どもたちの笑顔と未来を守る	1,171,000円
13	特定非営利活動法人プライドハウス東京 常設拠点「プライドハウス東京レガシー」の運営を中心に、いのちの相談事業やスポーツを通じたインクルーシブ社会の実現に取り組み、LGBTQ+当事者が安心して自分らしく生きられる環境づくりを推進しています。	363,000円	チャリティ寄付先事業（団体）合計：5,555万9,831円		

※2026年9月17日時点

■+ ONE Action 寄付金額内訳

寄付先事業（団体）		寄付件数	寄付金額
1	令和6年能登半島地震災害義援金	3,991件	1,995,500円
	500円寄付は、令和6年に発生した能登半島地震の被害を受けた地域への支援のため、災害義援金として、日本赤十字社を通じて義援金配分委員会へお届けいたします。		
2	認定NPO法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ	2,011件	1,005,500円
	全国のこども食堂を支援し、子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりや地域のつながりの創出に取り組んでいます。多くのこども食堂は食事の提供にとどまらず、子どもや家庭の孤立を防ぎ、多世代が支え合う地域コミュニティづくりにも寄与しています。500円寄付は、むすびえを通じて、全国のこども食堂への多様な支援活動に活用されます。		
3	一般財団法人あしなが育英会	1,736件	868,000円
	あしなが育英会は病気や災害、自死などで親を亡くした子どもたちや、親が障がいなどにより十分に働けない家庭の子どもたちを、奨学金、教育支援、心のケアで支える民間非営利団体です。500円寄付は、奨学金など教育事業費等の活動全般を支えるために活用されます。		

+ ONE Action 合計：386万9,000円

※2026年9月17日時点